

- ツ、土の性質
- テ、病原体と寄生虫の種類
- ト、音の高低と強弱
- ナ、川の水の流れとそのはたらき
- ニ、いねの栽培、特に成長と環境との関係
- ヌ、月の観察
- ネ、地質調査と植物採集（演習）

○ 中学校部会

- ア、天気図の指導
- イ、落下運動の指導
- ウ、動物の呼吸と血液の循環
- エ、力とモーメントの指導
- オ、中和と塩
- カ、遺伝のしくみ
- キ、火成岩の指導（甲子高原における現地学習）
- ク、沈澱の生成
- ケ、地球の運動
- コ、仕事
- サ、音、光、電気、放射線
- シ、造岩鉱物と火成岩
- ス、気体の発生
- セ、高等植物の見分け方
- ソ、植物の簡単な生態

○ 高等学校部会（生物班）

- ア、高校生物における実験観察のあり方
- イ、計測の指導
- ウ、理科における視聴覚教育について
- エ、物質交代の指導
- オ、くふう、改良された生物実験の発表と実演
- カ、細胞生理について
- キ、生物教育の系統性について
- ク、生物実験の諸問題について
- ケ、BSCSにおける生物教育のあり方

⑧ 実施状況および所見

夏季休業中の暑いさ中の6日間ではあったが、どの部会のどの会場も、講座実施担当者のきめこまかな計画と講師陣の効果的な講座内容の展開によって、大きな成果を得ることができた。また終始熱心な態度で研修された受講者の諸先生には心から敬意を表したい。

次年度の講師には、理科教育センターでの指導会者講習受講者に参加していただいて、さらに実際の、効果的な講座を展開したいものと考えている。

(2) 中学校技術・家庭科実技研修会

① 目的

中学校の技術・家庭科を担当する教員を対象として、この教科の実技に関する指導能力の充実向上をはかる。

② 主催

文部省、福島県教育委員会

③ 日程、期日、会場、参加者等

部会名 会場名	木材加工	金属加工	家庭工作	備考
福島4中	⅔～⅔	⅔～⅔	⅔～⅔	9時～16時
郡山1中	⅔～⅔	〃	〃	
若松2中	⅔～⅔	〃	〃	
富岡1中	〃	〃	〃	
浪江中	〃	⅔～⅔	〃	
参加者数	155名	155名	155名	計 465名

④ 講師

地区実技研修会に参加した者および中学校教員をもってあつた。

会場名	部会名	講師所属校	講師氏名
福島4中	木材加工	北信中	萩原 功
〃	金属加工	福島4中	秋田 実
〃	家庭工作	福島2中	関根千代二
郡山1中	木材加工	郡山1中	菅野 正男
〃	金属加工	〃	小熊 喜己
〃	家庭工作	郡山3中	鈴木 繁
若松2中	木材加工	若松2中	本田新一郎
〃	金属加工	〃	吉田 満
〃	家庭工作	若松3中	玉川 知
富岡1中	木材加工	富岡1中	山田 星
浪江中	金属加工	浪江中	忠義 広
富岡1中	家庭工作	富岡1中	山田 広
全	般	指導課	横内 直典
〃	〃	〃	佐藤 貞子

⑤ 実施状況および所見

夏期休業中の暑い盛りの時であったが、各地区とも講師陣の周到な準備と指導によって、研修の先生方も技術・家庭科指導のための実技能力を向上しなければならぬという自覚をもっておられるので、昼休みの時間ももどかしいという状態であった。

第7節 産業教育

昭和40年度は、国策に基づく産業教育の振興に対応し、さらには、産業教育80年の記念すべき年を迎えたのでこれらに伴う事業として、

- (1) 産業教育に関する教育内容および方法の改善
- (2) 産業教育に従事する教員の現職教育
- (3) 産業教育の実施について、産業界との協力の促進
- (4) 産業教育に関する施設・設備の充実
- (5) 産業教育80年記念式典の挙行
に重点をおいて下記事項を実施した。

1 産業教育に関する教育内容および方法の改善に関すること

- (1) 昭和40年度福島県教育課程研究会職業部会の開催
(前掲の通りである)

2 産業教育に従事する教員の現職教育に関すること。